

科目名	実践基盤看護学特論 Theories of Practice foundation Nursing		担当教員 (研究室番号)	未定		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次 前期	科目 区分	共通科目Ⅱ		選択 区分	領域 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義、演習	科目等 履修生	否
科目 目的	看護の歴史の変遷をふまえ、看護実践・看護理論・看護倫理との関連について理解を深める。また、質の高い看護を実践するための、看護専門職としての課題について論考する。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。										
	関連する DP	5. 看護学の発展に寄与するための研究能力を修得している。										
到達 目標	1. 現代に求められる看護のあり方について、自分の考えを持つことができる。 2. 看護実践・看護教育の土台となる看護理論・看護倫理に関する理解を深めることができる。 3. 看護教育の現状を理解し、課題を見出すことができる。											
成績評価方法 (基準)	クラスへの参加状況(40%)・プレゼンテーション(30%)・課題レポート(30%)による総合評価。											
教科書	必要時提示する。											
参考書等	必要時提示する。											
受講者への メッセージ	既存の価値観にとらわれず、幅広い視野で看護について考え、現代に求められる看護のあり方について考えて下さい。											
備考	臨地教育者コースの学生については、看護学原論の指定された単元への参加と、指示された視点でまとめたレポートの提出により、(★)の学習とします。											
回	学習項目		学習内容						主担当 教員	授業 方法		
1回	オリエンテーション 保健・医療・福祉の現状		保健・医療・福祉に関する諸指標から概観し、地域の生活の在り様について整理する。						未定	演習		
2回 ★	社会の変化と看護の動向①		外国における看護の職業としての成り立ちと看護学教育の変遷を知り、現代の看護に必要なとされる要件について学ぶ						未定	講義		
3回 ★	社会の変化と看護の動向②		我が国における看護の職業としての成り立ちと看護学教育の変遷を知り、現代の看護に必要なとされる要件について学ぶ						未定	講義		
4回 ★	看護理論と看護実践①		看護のメタパラダイムを理解し、看護理論の特徴を整理する。						未定	演習		
5回 ★	看護理論と看護実践②		看護の基本概念の関係を理解することにより、看護実践に看護理論を活かすことの意義について整理する。						未定	演習		
6回 ★	看護理論と看護実践③		看護の基本概念の関係を理解することにより、看護実践に看護理論を活かすことの意義について整理する。						未定	演習		
7回 ★	看護の本質①		現代における看護の定義から、求められる看護の役割について学ぶ						未定	講義		
8回 ★	看護の本質②		変わらない看護と変化する看護の具体例を挙げ、看護の本質と看護行為との関係について学ぶ						未定	講義		
9回 ★	看護の本質③		変わらない看護と変化する看護の具体例を挙げ、看護の本質と看護行為との関係について論考する。						未定	演習		
10回 ★	チーム医療と看護		地域包括医療の中で、看護職とクライアントおよび他の専門職との関わり方について看護の専門性の視点から論考する。						未定	演習		
11回 ★	看護師の能力育成①		看護基礎教育の過程を概観することで、看護基礎教育の構造と内容を学び、看護基礎教育における課題を整理する						未定	演習		
12回 ★	看護師の能力育成②		卒後教育の種類や過程を概観することで、看護師の高度な専門性を育成するための教育における課題を整理する						未定	演習		
13回 ★	看護実践と倫理①		看護実践における倫理の重要性について、倫理原則に基づき学ぶ。						未定	講義		
14回 ★	看護実践と倫理②		事例を基に、看護場面の倫理的葛藤の解決方法を考え、プレゼンテーションを行う						未定	演習		
15回	看護専門職としての課題		看護に関する最新の動向や課題について理解し、質の高い看護を実践するための課題をまとめる						未定	演習		